

名詞修飾表現プロジェクト2018年度第2回共同研究発表会  
2018年11月10日  
神戸大学

## ダパ語の名詞修飾表現

白井聡子  
日本学術振興会／筑波大学

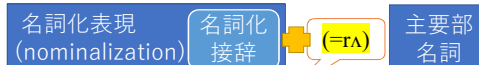
### 1.1 本発表の内容と目的 (1)

- ダパ語 (nDrapa/Zhaba) の名詞修飾表現  
→ 修飾用法、名詞句用法、述語用法の対比  
(cf. 白井 2013, 2016)
- 名詞句標識について



### 1.1 本発表の内容と目的 (2)

- いわゆる「関係節」に相当する表現



- (1) ɲoro1 [[tchi2 ɲi]-pi](=ra)3 [swi1] ndu1 me={o1 a-teho-a3.  
あれ 病気 病む-NMLZ=NPM 人/男 ダルムド 医術=所 DWN-行く-B.PFV  
あの病気になった人は、ダルムドの病院に行った。

- 名詞句用法

- (2) ɲoro1 [[tchi2 ɲi]-pi](=ra)3 ndu1 me={o1 a-teho-a3.  
あれ 病気 病む-NMLZ=NPM ダルムド 医術=所 DWN-行く-B.PFV  
あの病気になったのは、ダルムドの病院に行った。

3

### 1.1 本発表の内容と目的 (3)

- 動詞ベースの名詞修飾表現は、名詞化による。**  
- チベット=ビルマ語派 (TB) らしい特徴。  
(Matisoff 1972, Noonan 1997, DeLancey 1999, 2002 など)
- 後接語 =ra: 仮称「名詞句標識 (NPM)」**  
➢ 同じ形式が属格表現に用いられる。  
例: ɲa=ra3 pɰŋɰ3 {1SG=GEN 子供} 「私の子供」  
しかし、(2) では、いわゆる属格らしい機能を持たない。  
➢ TBではしばしば属格と名詞化に共通する形式が見られる。  
(Matisoff 1972, DeLancey 1999, Shibatani forthcoming など)  
しかし、動詞を名詞化する機能を持たない。=ra が動詞類に直接付加される例はない。(1), (2) の名詞化接辞は -pi。

4

## 1.2 ダバ語 (nDrapa/Zhaba) について (1)

- チベット=ビルマ語派(ナ=)チアン語支
- 中国四川省甘孜藏族自治州道孚県～雅江県
  - メト方言：道孚県仲尼郷麻中村
- 話者数 約8,000人(?)
- 書記体系は無い。



## 1.2 ダバ語 (nDrapa/Zhaba) について (2)

- 基本構成素順はSOV。後置詞を用いる。
- 接頭辞と接尾辞の両方がある。
- 基本的に主格対格型。ただし、主格はゼロ標識で、他の格助詞も文脈から文法関係が明らか場合は省略されることが多い(白井 2010)。
- 述語の構造(白井 2013)：名詞述語型(コピュラないし文末助詞)と動詞述語型。動詞語幹には、方向接頭辞、否定接頭辞、アスペクト接尾辞などが付加される。
- 制限的修飾と非制限的修飾の間に形式上の差異はない。
- 語声調(1: 高平; 2: 高降; 3: 低昇; 4: 低昇降)：音韻語末尾に表記。
- 接辞および助詞の多くは固有の声調を持たず、語基を中心とする音韻語の一部となる。

名詞句内の基本構成素順：

**前置修飾要素** (属格表現、名詞、名詞化表現) + **主要部名詞** + **形容詞** + **数量表現**

6

## 2. 名詞修飾表現の3用法

名詞、属格表現、数量表現、形容詞、および、動詞ベースの文法的名詞化表現のそれぞれについて、修飾用法、名詞句用法、述語用法を対比する。

7

## 2.1 名詞 (代名詞を含む) (1)

- 修飾用法：名詞の前に**そのまま**、**所有者**、指示表現も可。

(3) [[ʂtuma3] pʌɦʌ3]=wu [[ci2] kɛmʌ]=ʂto3 tʌ-hci2 hce-a3.  
 貧乏人 子供=ACDT 鉄 服=CLF NTL-着せる PST-B.PFV  
 貧乏童子(貧乏人である若者)に一着の鉄の服(鉄でできた服)を着せた。

(4) thiwu=ne3 [[rapha3] ɦɣɛŋkha]=ji3 tʌ-teu-a1 rɛ3.  
 向かい側=TOP ネズミ 国=CLF NTL-いる-PFV NTFC  
 (湖の)対岸には、ネズミの国がひとつあった。

(5) no1 [[ŋje1] je=kʌ3] a-ji=ni3, ɲɛ=ɦja=htei2 me3.  
 2SG 1PL 家=中 DWN-行く/来る=から 七=CLF=約 住む  
 あなたは私たちの家(の中)に来て七泊くらい泊まりなさい。

(6) [[koro3] gezi3] jɛnʌ3 ɲʌ-zi-a1 rɛ3.  
 これ 仔牛 昨日 OUT-生まれる-PFV NTFC  
この仔牛は昨日生まれた。

8

## 2.1 名詞（代名詞を含む）(2)

- 名詞句用法：そのまま。

(7) **kokho3** [ɕʌtʰe3] **teu-ε3.** cf. ɕʌtʰe3 miwo3  
 ここ 鬼 いる-B.IPFV 鬼 老女  
 ここに鬼がいる。 「鬼婆（鬼である老女）」

(8) [**koro3**] **ŋa=rʌ3** **me=nkhei3** **rε3.**  
 これ 1SG=GEN 母=様子 COP<sub>4</sub>  
 この人 (Lit. これ) が私のお母さんみたいだ。

9

## 2.1 名詞（代名詞を含む）(3)

- 述語用法：コピュラ（まれに文末助詞のみ）を伴う。

(9) **turʌ=ne3** **miwo=ji3** **sa3.**  
 REF=TOP 老女=CLF ADM  
 (悪い人が訪ねて来ることを予言して) そいつは、(1人の) おばあさんだよ。

(10) **koro1** **tei=pa2.**  
 これ COP<sub>2</sub>=INFR  
 (探していた弟の茶碗は) これかな。

10

## 2.2 属格表現（名詞 + =rʌ）(1)

- 修飾用法：名詞の前。主に所有者、所属先。属性はやや稀。

(11) [[**stuma-rε=rʌ3**] **paŋɣʌ3**]<sub>NP</sub> **ŋwipi1** **ndazi3** **kʌ-tʌ=ta1, ...**  
 貧乏人-PL=GEN 子供 前 弓矢 INW-打つ=PCL  
 貧乏人一家 (Lit. 貧乏人たち) の子供の前に (選別の) 矢が当たると、(…)

(12) [[**ŋwe=rʌ1**] **ŋoro1** **veŋapha1**]<sub>NP</sub> **jolehta=ji3** **ma-rε.**  
 2PL=GEN あの きょうだい 良いもの=CLF NEG-COP<sub>4</sub>  
 おまえたちのあの兄弟は、不吉だ (Lit. 良いものではない)。

(13) **turʌ3** **zʌntchi=ne3** [[**te+tshi=rʌ1**] **johpu1**]<sub>NP</sub> **rε3.**  
 その 娘=TOP 一+人生=GEN 使用人 COP<sub>4</sub>  
 (我々は十数日単位で雇われている使用人だが、) その娘は終身の (一生こき使われる) 使用人だ。

11

## 2.2 属格表現（名詞 + =rʌ）(2)

- 名詞句用法

(14) **ŋa=rʌ3** [**ntcholo=kʌ=rʌ3**]<sub>NP</sub> **no=wu3** **a-tu=rʌ2**  
 1SG=GEN 碗=中=GEN 2SG=ACDT DWN-注ぐ=COND

**no1** **stʌ1** **ndu=me.**  
 2SG 悪い できる=Q

私のお碗の中の (スープ) をあなた (のお碗) に入れたら、あなたは嫌なんじゃありませんか。

- 述語用法：コピュラまたは文末助詞を伴う。

(15) **ŋoro1** **tɔŋɔ1** **sei=teu=rʌ3** **ŋa=rʌ3** **wa3.**  
 あの コップ 三=CLF=NPM 1PL=GEN COP<sub>1</sub>  
 あの三つのコップは私のだ。

12

## 2.3 数量表現 (数詞 + 類別詞、数量名詞類) (1)

- 修飾用法：名詞の後。

(16) [johpu1 [sintshi=zja=htei1]]<sub>NP</sub> po=sa3.  
 使用人 三十=CLF=約 ある=ADM  
 (長者には) 30人くらいの使用人がいたんだよ。

(17) jo=la3 [ŋa2 [tsikapɛ1]]<sub>NP</sub> to-po-a3 rɛ3.  
 自分=LOC 金 少し NTL-ある-PFV NTFC  
 彼自身は、金を少し持っていた。

13

## 2.3 数量表現 (数詞 + 類別詞、数量名詞類) (2)

- 数詞tɛ1「1」は省略可能で、名詞の後に類別詞が直接付加される形式になりうる。

(3') ... [[ci2 kɛmɔ]=ɣto3]<sub>NP</sub> tɔ-hci2 hce-a3.  
 鉄 服=CLF NTL-着せる PST-B.PFV  
 (貧乏童子に) 一着の鉄の服を着せた。

(4') ... [[rapha3 hɣɛŋkha]=ji3]<sub>NP</sub> tɔ-teu-a1 rɛ3.  
 ネズミ 国=CLF NTL-いる-PFV NTFC  
 (対岸には) ネズミの国がひとつあった。

- 数量表現の重複は、形容詞とは異なり、分配的意味「～ずつ」を表す。

(18) tɛ=zja1 tɛ=zja=lal lei3 nɛ=ji4 nɛ=ji4 po={ɛ3.  
 一=CLF 一=CLF=LOC 包子 二=CLF 二=CLF ある=IPFV-B.IPFV  
ひとり2つずつ包子がある。

14

## 2.3 数量表現 (数詞 + 類別詞、数量名詞類) (3)

- 名詞句用法

(20) [seifdzi=zja=stei1]<sub>NP</sub> ŋa-ji3 ɕu-ɛ3.  
 三百=CLF=約 INW-行く 要る-B.IPFV  
300人くらいが行かなければならない。

(21) [turɔ3 tsikapɛ]<sub>NP</sub>=ɣɔ1 nɔole=kɔ3 ko-xul lɛ3 hce-a3 rɛ3.  
 それ 少し=NPM 馬糞=中 INW-隠す 置く PST-PFV NTFC  
その少しの(金)を馬糞の中に隠しておいた。

(22) nda1 ŋjɛ1 je=kɔ1 [ŋo=zja1]<sub>NP</sub> tɔ-nɔ-a1 rɛ3.  
 以前 1PL 家=中 五=CLF NTL-ある-PFV NTFC  
 以前、私たちのうちには(家族が) 5人いた。

- 述語用法：例なし。

15

## 2.4 形容詞 (1)

- 修飾用法：名詞の後。重複によって名詞化される。(事態名詞化?)

(23) ŋore=lal [nɔ3 mathimba3 hɣu-hɣu]=teu3 to-po-a1 rɛ3.  
 3PL=DAT 馬 非常に よい~NMLZ=CLF NTL-ある-PFV NTFC  
 彼らは、一頭の非常によい馬を持っていた。

(24) [je3 ɔnkhe1 tei-tei]=ji1 rɛ=mo3.  
 家 それほど 大きい~NMLZ=CLF COP<sub>4</sub>=CFM  
それほど大きい家だったんだよね。/家がそれほど大きかったんだよね。

16

## 2.4 形容詞 (2)

- 名詞句用法：重複によって名詞化される。

(25) no=ta1 [fɪɬɬ~fɪɬɬ1] ŋɬ-tɛ-zɛ3 po=ʈ-ɛ3.  
 2SG=MAL 悪い~NMLZ OUT-来る-NMLZ ある=IPFV-B.IPFV  
 おまえは凶事に遭うだろう。(Lit. おまえに悪いことが来ることがある。)

- 述語用法：名詞述語型または動詞述語型。

(26) a. koro3 satsa=kɬ3 {hɬ~{hɬ=ji1} rɛ3.  
 この 場所=中 心地よい~NMLZ=CLF COP<sub>4</sub>  
 b. koro3 satsa=kɬ3 {h-ɛ1.  
 この 場所=中 心地よい-B.IPFV  
 この場所は心地よい。

動詞述語型が選ばれるパターン  
 (比較表現など)では、修飾用法・名詞句用法も動詞ベースの名詞化と同じ形式になる。 17

## 2.5 動詞ベースの文法的名詞化表現 (1)

- Verb-based grammatical nominalization (Shibatani forthcoming)

→ 項名詞化 argument nominalization / 事態名詞化 event nominalization

- 名詞化接辞：喚起されるべき内容によって使い分けられる。

-pi: 典型的には、主語かつ人間 (一部、動物も可)

-hti: 典型的には、場所 (受領者も可)

-zɛ: 文法的名詞化では事態名詞化のみ。修飾用法は見つかっていない。

-mɬ: -piおよび-htiが典型的に用いられる場合を除き、さまざまな要素 (デフォルトの名詞化接辞)

ほとんどの場合、名詞句標識との -mɬ=rɬ という組み合わせだが、  
 単独の例も: ki-ttsi-mɬ {INW-食べる-NMLZ} 「食べるもの」 18

## 2.5 動詞ベースの文法的名詞化表現 (2)

- 項名詞化の修飾用法：いわゆる内の関係の修飾節。主要部名詞の前。  
 -pi 「人主語」、-hti 「所」、-mɬ (デフォルト)

(28) [[[seppu3 fɪgu=wu2 tɛu]-pi1] swi]<sub>NP</sub>=rɬ2  
 木 頂上=ACDT いる-NMLZ 人/男=NPM  
 zɬhɬi1 a-ʈ{ha=ni3...  
 靴紐 DWN-解く=から  
 木のでっぺんにいた男は、靴紐をほどいて…

明示されないことが多い

(29) [[[ŋoro1 a-ji]-hti3] (satsa3)]<sub>NP</sub> ndu1 rɛ3.  
 3SG DWN-行く/来る-NMLZ 場所 ダルムド COP<sub>4</sub>  
 彼が行った場所はダルムドだ。

(30) ŋoro=la=ne3 [[[me3 tɬ-khe]-mɬ]=rɬ3 [ntcholo]=ji3]<sub>NP</sub> po=ʈ-ɛ3.  
 3SG=LOC=TOP 母 NTL-与える-NMLZ=NPM 碗=CLF ある=IPFV-B.IPFV  
 彼には母がくれたお碗が一つある。

19

## 2.5 動詞ベースの文法的名詞化表現 (3)

- 事態名詞化の修飾用法：いわゆる外の関係の修飾節。主要部名詞の前。  
 -mɬ (デフォルト)

(31) [[[hɬɬ3 ŋi]-mɬ]=rɬ4 [fɪɛmba3]]<sub>NP</sub>, pikeka3 tɬ-tɛɬ-a1 rɛ3.  
 脚 痛む-NMLZ=NPM 原因 蛙 NTL-ある-PFV NTFC  
 脚が痛かった原因は、蛙が(中に)いた(のだ)。

(32) [[[ŋa1 kokho3 vo+ɛu]-mɬ]=rɬ3 [tɔnda3]]<sub>NP</sub>, ...  
 1SG ここ 来る+要る-NMLZ=NPM 事情  
 私がここに来なければならなかった事情というのは、…

(33) [[[to-mɔ1 mɔ-fɪje]-mɬ]=rɬ1 [hta]]<sub>NP</sub>=ne2, ...  
 NTL-忘れる NEG-STATE-NMLZ=NPM しるし=TOP  
 忘れてしまわない(ための)しるしとしては、…

20

## 2.5 動詞ベースの文法的名詞化表現 (4)

- 項名詞化の名詞句用法：いわゆる主要部なし関係節。名詞句標識=rΛを伴うことが多い。-pi「人主語」、-hti「所」、-mΛ (デフォルト)

- (34) [[loza=wu3 ηΛ-ndε]-pi]<sub>NP=rΛ1</sub> hkezo3 sa=rε3.  
 ロザ=ACDT OUT-殴る-NMLZ=NPM ケゾ ADM=NTFC  
 ロザを殴ったのはケゾだよ」
- (35) [[somuŋi3 ntshε{Λ1 se]-hti3]<sub>NP</sub> hpo=wu2 rε3.  
 明日 ダンス 踊る-NMLZ 草原=ACDT COP  
 明日踊るのは草原でだ
- (36) [[hkezo3 ηΛ-ndε]-mΛ]<sub>NP=rΛ1</sub> sha1 sa=rε3.  
 ケゾ OUT-殴る-NMLZ=NPM 誰 ADM=NTFC  
 ケゾが殴ったのは誰だ。

21

## 2.5 動詞ベースの文法的名詞化表現 (5)

- 事態名詞化の名詞句用法：-mΛ (=rΛを伴う)、-ze (=rΛなし)

いわゆる  
主部内在型

- (37) [[ηwε1 hgehge2 hdu3]-mΛ]<sub>NP=rΛ3</sub> ηa3 rε3.  
 2PL 先生 探す-NMLZ=NPM 1SG COP<sub>4</sub>  
 君たちが探している先生 (Lit. 君たちが先生を探しているの) は、私だ。
- (38) [[ntshε3 nchi-hti3 nteholo3 nchi]-ze3]<sub>NP</sub> tea=mε3.  
 野菜 売る-NMLZ 碗 売る-NMLZ ある=Q  
 野菜市場で売っているお碗 (Lit. 野菜を売るところでお碗を売っているの) がありますか？
- (39) [[ηa1 Λ-mΛ]-mΛ]<sub>NP=rΛ3</sub> tonda3 the-a2.  
 1SG UPW-夢見る-NMLZ=NPM 事実 なる-B.PFV  
 夢が実現した。(Lit. 私が夢見たことが事実になった。)
- (40) [[somuŋi3 xo3 nchara3 ji]-ze1]<sub>NP</sub> nΛ=sa3 rε3.  
 翌日 さらに 遊び 行く/来る-NMLZ ある=ADM NTFC  
 翌日また遊びに行くことがあったんだよ。

22

## 2.5 動詞ベースの文法的名詞化表現 (6)

- 名詞化表現の述語用法：名詞と同じようにコピュラ/文末助詞を伴って述語になりうる。

- (41) ηa3 [[no=peΛa2 zo]-pi1]<sub>NP</sub> wa3.  
 1SG 2SG=CNT 世話する-NMLZ COP<sub>1</sub>  
 私は、あなたのことをお世話する者です。

23

## 2.5 動詞ベースの文法的名詞化表現 (6)

- 名詞化された形式と動詞述語形式：アスペクトと視点の表示が名詞化表現内では中和されるため、異なる。接尾辞の関わる例：

- (42) a. [[hkezo3 ηΛ-ndε]-mΛ]<sub>NP=rΛ1</sub> sha1 sa=rε3. =(36)  
 ケゾ OUT-殴る-NMLZ=NPM 誰 ADM=NTFC  
 ケゾが殴ったのは誰だ。
- b. ?hkezo3 ηΛ-ndε1.  
 ケゾ OUT-殴る
- c. hkezo3 (co=ji=wu3) {ηΛ-ndε1 hce-a3 / ηΛ-ndε-a1}.  
 ケゾ 友=CLF=ACDT OUT-殴る PST-B.PFV/OUT-殴る -B.PFV  
 ケゾは(友達を)殴った。

24

## 2.5 動詞ベースの文法的名詞化表現 (7)

- 名詞化された形式と動詞述語形式：アスペクトと視点の表示が名詞化表現内では中和されるため、異なる。接頭辞も関わる例：

(43) a. [[**ŋoro1**    **zitshi3**    **ei-pi3**]<sub>NP</sub>    sh<sup>Λ</sup>1    rɛ3  
 あの            靴            買う-NMLZ    1SG    COP<sub>4</sub>

あの靴を買ったのは誰だ。

b. \*tsheri1    ŋoro1    zitshi3    ei3.  
 ツェリ    あの    靴            買う

c. tsheri1    ŋoro1    zitshi3    **ki-ei2**            **hce-a3**.  
 ツェリ    あの    靴            **INW-買う**            **PST-B.PFV**  
 ツェリがあの靴を買った。

25

3. ダバ語の =r<sup>Λ</sup> と  
日本語の「の」の対照

属格標識と同じ形式 =r<sup>Λ</sup> が、多くの例において、属格らしい機能とは関係なく名詞句に付加されている。このような「属格標識ではない=r<sup>Λ</sup>」を Shibatani (forthcoming など) の言う NP-use marker と対照しうるものと考え、「名詞句標識」として扱ってきたが…?

26

3.1 チベット=ビルマ語派 (TB) の属格標識と  
日本語のふたつの「の」：先行研究と問題点

- TBでは、名詞化、名詞修飾、属格などにしばしば共通/関連形式：Matisoff (1972)、DeLancey (1999, 2002) など。日本語等と「似ている」とも。
- しかし、日本語研究においては、**いわゆる属格の「の」と準体言の「の」は別**のものと結論づけられており、日本語の属格辞に動詞ベースの名詞化辞としての機能もあるというような言及は誤り (Shibatani forthcoming: Section 7 など)。
- Shibatani: 名詞ベースの名詞化 (いわゆる属格) と動詞ベースの名詞化が同じようにマークされるパターン (漢語などと同じ) が、チベット=ビルマ語派に広く見られると指摘。
- ダバ語においては、属格と名詞句標識が同一形式だが、**名詞化辞とは別**。
- Noonan (1997): TBにおいて、属格標識なしに名詞を修飾できる例や名詞化と属格が異なる言語も数多くあり、元々、属格は関係なかったのではないか。また、これらの関係が深い言語では、名詞化形態素から関係節化機能を経て属格標識へ発展した可能性。

27

## 3.2 ダバ語の名詞句標識と日本語の名詞句用法標識

- 名詞化表現の後ろに付加され、名詞句であることを表示

(44) a. [[wotshi3    sei=tsu1    po]-pi]<sub>NP(=r<sup>Λ</sup>)3</sub>    lamo1    rɛ3.  
 帽子            三=CLF    ある-NMLZ=NPM    ラモ    COP<sub>4</sub>  
 帽子を三つ持っているのはラモだ。

日本語などの名詞句  
用法標識と異なる点

- 修飾用法でも付加されうる。
- 名詞句用法でも義務的ではない。

名詞句である  
ことを補強?

b. 帽子を三つ持っている {の/人/\* $\emptyset$ } は、あいつだ。

→古典語では「 $\emptyset$ 」とも交替可

→「の」 (いわゆる形式名詞) = 名詞句用法標識 NP-use marker (Shibatani forthcoming)

28



## 3.3 ダバ語の名詞句標識と属格標識

- 2つの「の」は連続しうるが（例：昨日食べた {の/もの} の産地）、ダバ語の名詞句標識と属格標識が連続する例は見つかっていない。
- 属格表現によって表される内容は、概ね名詞そのままの形式でも可所有者：

(4') rapha3 fɛŋɛkha3 「ネズミの国」

(5') nje1 jekɔ3 「私たちの家」

(12') nwe=rɔ1 venɔpɦal 「おまえたちのきょうだい」

属性（属格はやや稀）：

(3') ei2 kɛmɔ3 「鉄の服」

(13') tetshi=rɔ1 johpu1 「終身（一生）の使用人」

いわゆる属格辞の中心的な用法において、任意

ダバ語における属格標識と名詞句標識が別の語である証拠はない

1つの語の複数の機能 と考える方が妥当

## 3.4 数量表現に付加される場合 (1)

- 「範囲内のすべて」を意味する。
- 複数表現の「～とも、全部」

(15') ɲoro1 ʈoŋqo1 sei=teu=rɔ3 ɲa=rɔ3 wa3.  
 あの コップ 三=CLF=NPM 1PL=GEN COP<sub>1</sub>  
 (あそこにコップが3つあるが、) あの3つのコップは (3つとも) 私のだ。

(45) ndazi3 ne=ndji=rɔ1 ɲoro1 ɲwipil kɔ-ttɔ-a1 re3.  
 弓矢 二=CLF=NPM 3SG 前 INW-当たる-PFV NTFC  
 (矢を2回射たところ、) 矢は2回とも (Lit. 2回の矢が) 彼の前に当たった。

cf. htɪ1 nda1 ne=ndji3 kɔ-tɔ3, [...]

最も 以前 二=CLF INW-打つ

「最初の時は（優秀な子を選別する矢を）2回射て、（数年後に3回射た）」

30

## 3.4 数量表現に付加される場合 (2)

- 「範囲内のすべて」を意味する。
- 範囲内に含まれると喚起されるもの「～中」

(46) anɔ3 ʈomba3 te=ji=rɔ2 kɔ-ndzil ʈɔ3.  
 今日 村 一=CLF=NPM INW-集まる IPFV  
 今日、村中 (の人) が集まるよ。

(47) aci3 te=fja=rɔ1 hkeŋe3 a-le~le=ta3, ...  
 夜 一=CLF=NPM 叫び声 DWN-する~ITR=PCL  
 一晩中、(誰かの) 叫び声が聞こえていて、...

cf. (5') nol nje1 je=kɔ a-ji=ni3, ne=fja=hte2 me3.  
 2SG 1PL 家=中 DWN-行く/来る=から 七=CLF=約 住む  
 あなたは私たちの家 (の中) に来て七泊くらい泊まりなさい。

31

## 3.4 数量表現に付加される場合 (3) 日本語との対照

- ダバ語：「範囲内のすべて」を意味する。
- 範囲内に含まれると喚起されるもの「～中」
- 複数表現の「～とも、全部」
- この =rɔ は、属格標識？名詞句標識？第三の機能？

- 日本語で、1つのパッケージにまとめられた総体を表す「の (ん)」

(48) 「数詞基準標準体言のさらなる体言化」(柴谷 2016: 66より)

- 買って来た卵は、六個を冷蔵庫にしまい、四個をカウンターに置いておいた。  
[バラバラ (またはセット?) ]
- 買って来た卵は、六個の (ん)を冷蔵庫にしまい、四個の (ん)をカウンターの上に置いておいた。[セットになったもの]

32



## 3.4 数量表現に付加される場合 (4) 考察

- ダバ語の(15')のような例で、数量表現 + =rʌ の後ろに名詞が省略されているとは考えられない。単位名詞 + 数量表現が他の名詞を修飾する場合も、主要部名詞の後ろに置かれる。

(49) ɲa=rʌ3 ɛje=kʌ1 [ntshɛ3 [remba3 sei=htei2]] ɛi2.  
 1SG=GEN 畑=中 野菜 種類 三.CLF=約 ある  
 私の畑には3種類の (Lit. 3つほどの種類の) 野菜が (植えて) ある。

- 日本語では、「の (+の) 」 (標準語では必ず省略される)

「6個の {ん/方/パック} を冷蔵庫に…」 いわゆる属格辞は、後ろに名詞が来ることが想定される

=rʌ の本来の機能が属格標識とは考えにくい。

ダバ語の =rʌ は、名詞句用法標識の方に近いのでは

33

## 3.5 ダバ語の =rʌ に関するまとめ

- 名詞化接尾辞とは別。
- 属格標識として機能するが、義務的ではない。
- 名詞化表現の後ろに付加され、名詞句であることを表示するが、義務的ではない。
  - Shibatani (forthcoming) の NPM との違い：修飾用法でも用いられる。
    - ←名詞の修飾用法がそのままの形であることで説明可か？
- 数量表現に付加されて、「範囲内のすべて」を意味する。
  - 日本語の“数詞基盤準体言 + 「の」 (+ 「の」)” に似ている。
- 1つの語の複数の機能。
- 本来の機能は、属格標識ではない可能性が高い

名詞句標識から属格標識への発達途上？ (cf. Noonan 1997)

35

## 4. おわりに

## 略号 (Leipzig Glossing Rules に含まれないもの)

ACDT - accusative-dative; ADM - admirative; B - pattern B (non-egophoric); CNT - content (case); DWN - downward; INFR - inferential; INW - inward; ITR - iterative; Lit. - literal translation; NPM - NP marker; NTFC - neutral-factual; NTL - neutral (direction); OUT - outward; PCL - polysemic clause linkage marker; REF- referential pronoun; UPW - upward

## 謝辞

ダバ語現地調査に協力して下さった皆様に心より感謝申し上げます。なお、本研究は国立国語研究所共同研究プロジェクト「名詞修飾表現」およびJSPS科研費17J40087の成果の一部である。

36

## 参考文献

- DeLancey, Scott. (1999) Relativization in Tibetan. In Yogendra P. Yadava and Warren W. Glover (eds.) *Topics in Nepalese Linguistics*, pp. 231-249. Kathmandu: Royal Nepal Academy.
- DeLancey, Scott. (2002) Relativization and Nominalization in Bodic. In Patrick Chew (ed.) *Proceedings of the Twenty-Eighth Annual Meeting of the Berkeley Linguistics Society: Special Session on Tibeto-Burman and Southeast Asian Linguistics (2002): Special Session on Tibeto-Burman and Southeast Asian Linguistics*, pp. 55-72. Berkeley: Berkeley Linguistics Society.
- Matisoff, James A. (1972) Lahu Nominalization, Relativization, and Genetivization. In John P. Kimball (ed.) *Syntax and Semantics*, Vol.1, pp. 237-257. New York: Seminar Press.
- Noonan, Michael. (1997) Versatile Nominalizations. In Joan Bybee, John Haiman, and Sandra H. Thompson (eds.) *Essays on Language Function and Language Type: Dedicated to T. Givón*, pp. 373-394. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.
- 柴谷方良 (2016) 「What can Modify Nouns?」 『名詞修飾表現』 第1回共同研究発表会発表資料. 国立国語研究所 <[http://cross.linguistic-studies.ninjal.ac.jp/noun/?page\\_id=274](http://cross.linguistic-studies.ninjal.ac.jp/noun/?page_id=274)> 2018.10.26.
- Shibatani, Masayoshi. (forthcoming) What is Nominalization? Towards the Theoretical Foundations of Nominalization. In Roberto Zariquiey, Masayoshi Shibatani, and David Fleck (eds.) *Nominalization in languages of the Americas*. Amsterdam: John Benjamins.
- 白井聡子 (2013) 「ダバ語における文の下位分類」, 澤田英夫 (編) 『チベット=ビルマ系言語の文法現象2: 述語と発話行為のタイプから見た文の下位分類』, pp. 391-421. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 白井聡子 (2016) 「ダバ語の名詞句と修飾構造」, 池田巧 (編) 『シナ=チベット系諸言語の文法現象 1 名詞句の構造』, pp. 27-35. 京都大学人文科学研究所.

37